



どんぐりルームころころ



令和2年10月28日(水)

尚綱こども園 保育棟 子育て支援室

TEL (096) 338-6111

秋がますます深まるこの時期、そろそろ冬支度を始める方も多いのではないのでしょうか。

どんぐりやくるみ、落ち葉で溢れているこども園で、今月もみなさまのお越しをお待ちしております♪

月	火	水	木	金
2 どんぐりルームお休み	3 文化の日	4	5	6 どんぐりルームお休み
9 	10 どんぐりルームお休み	11 どんぐりルームお休み	12	13
16 どんぐりルームお休み	17	18 ☆わたしのきもち	19	20
23 勤労感謝の日	24	25	26 ☆秋のおさんぽに 出かけよう！	27
30 	※11月の通常予約は 10月29日(木)13時より受付を開始します。			

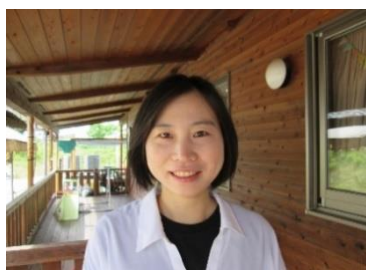
どんぐりルームのご利用について

1日の利用者を10組以下に限定するため、お電話または、どんぐりルームにて利用予約をお受けいたします。初めてどんぐりルームをご利用になる方も、同じくお電話にてお申し込みください。

(電話予約 受付時間) 13時～16時 (電話番号) 096-338-6111 担当：上原



今月より、「子育て応援団」
再開します！



本吉 菜つみ先生

幼児教育学科助教「本吉菜つみ先生」をご紹介します。

以前は、地域の保健センターで、お子さまの発達について、様々な相談を受けてこられた菜つみ先生。先生自身も男の子2人の子をもつお母さまで。お子さまの発達で心配や不安を感じた事がある、と言う方も少なくないのでは。我が子との向き合い方、関わり方などもアドバイスしていただけます。ひとりで悩まず、まずは相談してみませんか？

相談ご希望の方は、どんぐりルーム職員までお問い合わせください。(在園児の保護者の方の相談もお受けします！)



裏面につづく

☆11月18日(水)

「わたしのきもち (2歳児編)」

相澤 幸代先生

世間では「イヤイヤ期」と言われる2歳児。素直でかわいい我が子…それが突然、「ちがう!」「いやだ!」と、怒って泣いて自分の気持ちを訴える姿に、戸惑った経験がある方も多いのではないのでしょうか。そんな我が子の「きもち」を一緒に考えてみませんか。

相澤先生が、「イヤイヤ期」と言われる時期の、我が子の気持ちの受け止方やかわり方を教えてください。また、どんぐりルーム内で、最もリクエストが多かった講座です。興味のある方はぜひ、ご参加ください。

(対象) 8組の親子

(集合) 10時15分 (開始) 10時30分

※予約は、11月9日(月)13時より、お電話にてお受けします。



☆11月26日(木)

「秋のおさんぽに出かけよう!」

二子石 諒太先生

子ども達と触れ合うことが大好きで、いつも優しい眼差しで話される二子石先生。自然博士と秋のお散歩に出かけましょう!きっと、新しい発見ができますよ。



(対象) 2歳以上の親子8組

(集合) 10時15分 (出発) 10時30分

(持ち物) 水筒、タオル、上着

※蓋付きの透明な空き瓶(鮭フレークやジャムの瓶など)があったらお持ちください。おもしろい虫を見つけて観察してみましょう。

(服装) 帽子・長袖・長ズボン・運動靴もしくは長靴

※秋はハチも活発です。特にハチは色と香りに反応します。黒色に反応しやすいので服装や帽子はできるだけ明るい色(白系がベストです)を着てきてください。また、香水や整髪料もお控えください。

雨天時 小雨…雨の散歩(レインコート、長靴、できれば透明のビニール傘、着替え)

大雨…室内で自然物を使った工作などを予定しています。

☆予約は11月19日(木)よりお受けします。



子ども達が幼い頃、主人の仕事の都合で、沖縄で生活することがありました。

お買い物に歩いて行きたいという長男のリクエストに答え、真夏の暑い太陽がキラキラと照りつける中、双子はそれぞれベビーカーとおんぶ、そして長男はわたしの手を握り、ふらふらと歩きながら20分以上かけてスーパーへ行きました。

スーパーへ着く頃、わたしはぐったり…。その隙をついて、長男が島豆腐売り場の試食コーナーへダッシュ!!そして次の瞬間、長男は試食品を誤ってド派手にこぼしました!!わたしは長男に厳しく注意し、担当の方にも深く謝りました。すると、その方は、

『この子は、なんにも悪くないよ。お母さん、なんでそんなに怒るの。怒ったらダメ!この子はこぼしたくてこぼしたんじゃないよ!』とわたしに言いました。そしていっしょに片付けてくださり、

『はい、ぼくとお母さんに、元気の出るお豆腐あげようね!』と言って、笑ってしまうくらいてんこ盛りの島豆腐を私達にくださいました。

わたしはこの時、女性から言われた言葉、そして優しさをたびたび思い出します。怒ったらダメ!と言われたこと、息子に大丈夫だよ!と言ってくれたこと、初対面の方でしたが、わたしは彼女の言葉に「愛」を感じました。子どもたちに向ける言葉も、いや、誰に向ける言葉でも、愛が届く言葉でありたいと、心に刻んだ出来事でした。「愛が届く言葉」を、少し意識して生活してみたら、子ども達が…特に長男がわたしに優しい??ような気がします(笑)どんぐり母ちゃん、秋の夜長に思い出された、遠い日の記憶…でした♪

